

2023 年度 織田調理師専門学校

学校関係者評価報告書

(令和 5 年度)

評価対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

織田調理師専門学校

学校関係者評価委員会

1. はじめに

2023年（令和5年）4月1日～2024年（令和6年）3月31日を評価対象期間とした自己点検評価報告をもとに織田調理師専門学校学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

本校が社会および飲食業界に対して高い価値を提供すべく、より良い教育を目指すため、委員の皆様にご評価とご意見をお伺いいたしました。学校関係者評価の結果を踏まえ、学校運営の更なる改善と教育の質向上に努めて参ります。

開催日：2024年5月1日（水）15：00～16：30

会 場：織田学園第8校舎 グリーンホール

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	役職等	種別
山野 晴雄	多摩地区高等学校進路指導協議会	顧問	有識者委員
大貫 晃司	小料理 café 太田屋	オーナーシェフ	卒業生
関口 学	(有) コニファー企画	オーナーシェフ	卒業生

3. 自己評価に対する学校関係者評価委員の評価方法

学校より自己評価の各項目について関連資料を交えて報告と説明を行い、自己評価の評価点（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切・未実施…1）が適切か適切でないかを学校関係者評価委員3名よりそれぞれ評価をいただいた。

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

【1. 教育理念・目標・育成人材像】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
理念・目標・育成人材像は、定められているか。	4	適切 3名
学校における職業教育の特色が明確になっているか。	4	
各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	

学校の教育理念に沿った①アドミッションポリシー ②カリキュラムポリシー ③ディプロマポリシーを設定または改訂できたか。	4	
---	---	--

<ご意見・評価等>

- HP、入学案内にも教育理念・目標に基づいて学校の特色がきちんと表現されている。
- ディプロマポリシーについては、調理師の初期キャリアで求められる知識や技術の習得までを明記するのが望ましい。
- 目標として広い視野に立った学識を教授するためにも、より校外実習を取り入れ、カリキュラムを充実させて、学生に様々な経験を積ませてほしい。

【2. 学校運営】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念・目標に沿った運営方針が策定されているか。	4	適切 3名
外部関係者の評価（学校関係者評価委員会）を有効に活用できたか。	4	
カリキュラムや学習環境が正しく機能しているか。また、時代の変化や社会のニーズに合わせたカリキュラムの見直しが行われたか	4	
定員が適正に設定されているか見直し、検討されたか。	4	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	

<ご意見・評価等>

- 感染症対策を行った上で、対面授業だけでなく、校外実習を再開したことはかなり評価できる。
- 業界のニーズに対応したカリキュラムを編成していくために、関係企業との協議の場を定期的に持つことも検討してもらいたい。
- 現在はすべて適切と評価されているが、まだ浮き彫りになっていない課題を見つけ、その改善も検討していただきたい。

【3. 教育活動】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか。	4	適切 3名
教育カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	

実践的な職業教育（産学連携教育、インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	2	
授業評価を実施し、その評価体制はあるか。	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	
教員間で授業視察を行いスキル向上や相互理解を深める機会があったか。	3	
トレンドに沿った料理や調理法を知るための外部講師による講習会等の開催があったか。	4	
教員の研修・自己啓発は促進できたか。	3	

<ご意見・評価等>

- 業界で活躍する講師を招くなど職業教育を実施しているのは評価できる。
- 食品ロスなど SDGs の理念を取り入れた授業は今後も継続的に行ってもらいたい。
- なお、「授業評価」は、学生が教員の授業に対してアンケートなどで実施し、授業の改善に役立てるものなので、改善の検討をお願いしたい。
- 実践的な職業教育を実施していることは今後も継続してもらいたい。

【4. 学修成果】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
生活支援の充実化は図れたか。	4	適切 3名
教育支援の充実化は図れたか。	4	
就職支援の充実化は図れたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 経済的困難を抱えている学生に対する相談・支援の体制をより充実させるように努めていただきたい。
- 放課後の自主練習等の指導は教員も大変だとは思いますが、今後も続けてもらいたい。
- 就職支援も早い時期から継続的に実施しているのは評価できる。
- 就職活動が本来の対面式に戻り、身だしなみやビジネスマナーの指導も行っていることを評価する。より指導を強化していただきたい。

【5. 学生支援】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
退学率の客観的数値(前年度比較)は改善したか。	3	適切

学生のメンタルヘルス対応は積極的に取り組めたか。	4	3名
卒業生への支援体制はあるか。	4	
学生情報の教職員間での共有は効果的に行えたか。	4	
保護者との連携は適切だったか。	4	

<ご意見・評価等>

○精神的に不調を抱えた学生が増えているのは全体的な傾向なので、学園としてカウンセラーを置くことを検討する必要がある。

○その上で、保護者との連絡、教員間の情報共有、専門機関との連携を図って、退学者を少しでも減らすように努めてもらいたい。

○多様性の時代を迎え、教職員の負担も大きくはなっているが、サポートの充実を検討していただきたい。

【6. 教育環境】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
卒業生・在校生・学校間のネットワーク構築への取り組みについて進捗・改善は見られたか。	4	適切 3名
学校内に同窓会担当者を設置しているか。	3	
施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3	

<ご意見・評価等>

○キャリアマップは就職活動のためのツールとして活用されているようなので、卒業生については学園の同窓会組織を作り、同窓会を通して卒業生と学校の連携を図る必要がある。

○また、教育施設・設備については学生の要望も把握しながら充実させていくよう努めてもらいたい。

○防災備蓄品については学園として備蓄し、合わせて避難訓練も実施してもらいたい。

○普通教室へのモニター設置などの整備を検討することについて、若い人材の意見や世間の情報を多く取り入れ、より良い教育環境を整えていただきたい。

【7. 学生の受け入れ募集】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
OC参加者の増加は達成できたか。	4	適切 3名
OCからの取り込み率は向上できたか。	2	

学生募集における学校の訴求ポイントについて広報と協議の上で決められたか。	4	
広報物の訴求の一貫性を図れたか。	4	
広報物の制作にあたり、学校と広報とで意見交換が図られたか。	4	
広報担当スタッフとの連携を強化できたか。	4	
OC 時の参加者対応スキルの向上は図れたか。	4	
OC の結果等の分析や、コース内容のブラッシュアップ等について学校と広報とで十分な意見交換ができたか。	4	
SNS 等、学校の認知 PR は適切に行えたか。	3	

<ご意見・評価等>

- HP、SNS での情報発信を工夫して行い、オープンキャンパスも学生の協力を得て実施して効果を上げているのは評価できる。
- 高校訪問を定期的に行い、高校ガイダンス・模擬授業等への参加などを行い、高校教員、高校生への学園の認知を広げる努力をお願いしたい。
- 留学生対応は東専各協会主催の相談会への参加、信頼できる日本語学校との連携を検討してみてもどうか。
- オープンキャンパスの参加者は増加しているものの取り込み率は低下しているとのこと、設備の入れ替えなども検討していただきたい。
- オープンキャンパス参加後にオンラインで繋がりを保つことが必要だと考える。

【8. 財務】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
経営感覚の教職員間での共有は図れたか。	3	適切
財務改善への取り組みは推進できたか。	4	3名

<ご意見・評価等>

- 入学者を増やすことと退学者を減らすことに教職員が一丸となって取り組むことが求められる。
- 学校の強み、魅力を発信し、何よりもオープンキャンパス参加者を増やして学生数を確保することが望まれる。
- 諸経費の高騰が激しい時代だが、職員間での目標を一致させ収入増を目指していただきたい。

【9. 法令等の遵守】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
コンプライアンス意識を再確認できたか。	4	適切
自己評価の結果を公開しているか	4	3名

<ご意見・評価等>

- 基本情報から自己評価、学校関係者評価、財務情報まで HP に公開されていることは適切な運営が為されていると考える。
- できれば過去3年分はアーカイブとして公開できるよう検討していただきたい。
- 法令等の遵守は適切にされており、これを継続して学校運営にあたっていただきたい。

【10. 社会貢献・地域貢献】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
地域や地方公共団体と連携し、受託等を積極的に実施しているか。	4	適切 3名

<ご意見・評価等>

- アールブリュット展への参加など、従来から地域・自治体と連携したイベント等に参加しており、今後も積極的な参加を望みたい。
- 引き続き社会・地域貢献を実施していただき、食の文化を広めるとともに学校の知名度を上げていただきたい。

【11. 国際交流】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
留学生受入れ、学習・生活指導等について適切な体制が整備されているか。	3	適切 3名

<ご意見・評価等>

- 留学生担当の職員がいるのは評価できる。
- N2 レベル以上の留学生の受け入れが望ましい。
- 留学生担当の職員の適切なサポートに期待する。

5. 総評

○飲食業界は感染症の影響を大きく受けたが、現在は人材不足で就職も好調のようだ。「卒業するまで『全ジャンル』を学ぶ」という学校の特色や、卒業生の活躍を積極的に情報発信して、学校の魅力を高校生に広げ、入学者の確保に努めていただきたい。また、業界と連携して人材の育成を図るとともに、食品ロス対策など SDGs 教育の取り組みも積極的に進めていただきたい。

○環境の変化が激しい時代であるが、学校の発展を卒業生として心より望んでいる。教員の方々は大変だと思うが、時世の流れを読みつつ対応していただきたい。今後も料理の楽しさ、文化、歴史などを若者たちに伝承していただきたい。

○毎年、様々なニーズ・問題が変化する速度が速くなっており、教員の負担が増えていると感じるが、人を育てるといふ素晴らしい仕事に誇りを持って頑張っていただきたい。また、近年は食中毒が増えている。食品管理温度、冷凍技術等の学識教授も強化していただきたい。

織田調理師専門学校
学校関係者評価委員会